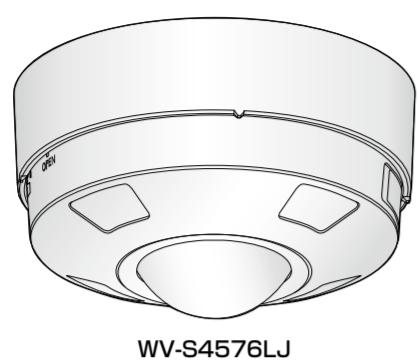


取扱説明書 設置編

工事説明付き 保証書別添付



ネットワークカメラ 業務用

品番 WV-S4576LJ 屋外監視用
WV-S4556LJ 屋外監視用

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下の構成になっています。

●取扱説明書 設置編(本書) :
本機の安全上の注意、設置方法について記載しています。●取扱説明書 基本編(下記マニュアルウェブサイト内) :
本機の使用上のお願い、詳細な仕様について記載しています。●取扱説明書 操作・設定編(下記マニュアルウェブサイト内) :
本機の操作や設定方法について記載しています。https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_manual-dl

取扱説明書に記載されている「<管理番号: Cxxxx>」は、以下の弊社サポートウェブサイト内で該当する情報を検索する際に使用する番号です。

https://biz.panasonic.com/jp-ja/products-services_security_support_technical-information

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。

●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

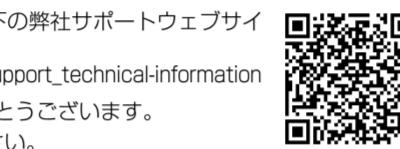
●SDXC/SDHC/SDメモリーカードはSDメモリーカードと表記しています。

●製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

パナソニックi-PRO
センシングソリューションズ株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic i-PRO Sensing Solutions Co., Ltd. 2021



* PGOX2487ZA * avs0921-0 Printed in China

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () - お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

- 製品名 ネットワークカメラ
- 品番 WV-S4576LJ、WV-S4556LJ
- 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間: お買い上げ日から本体1年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

アフターサービスについて、おわかりにならないときは

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリー 0120-878-410 受付: 9時~17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)
※携帯電話 PHSからもご利用になります。ホームページからのお問い合わせは <https://panasonic.biz/cns/cs/cntctus/>ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知してあります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

注意:

- カメラに接続される直流電源は同じ建屋内になければなりません。
- 外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。
- 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。
- 本機にはDC 12 Vのクラス2電源(UL 1310/CSA 223)か、供給電力が制限される有限電源(IEC/EN/UL/Csa 60950-1, IEC/EN/UL/Csa 62368-1 Annex Q)またはIEC/EN/UL/Csa 62368-1 PS2を使用してください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

注記:

- 本機は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。
- 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。
- 本機は業務用機器です。
- 設置に必要なねじやその他の部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。

■ ■ ■ 直流電源記号

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



■ 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

■ 警告



■ 禁止

■ 異物を入れない
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります)⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。■ 可燃性ガスの密閉気中で使用しない
(爆発によるけがや事故の原因となります)■ 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない
(取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります)■ 落とさない、強い衝撃を与えない
(けがや火災の原因となります)■ SDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない
(誤って飲み込むおそれがあります)⇒万一本、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。■ ぶら下がらない、足場代わりにしない
(けがや事故の原因となります)■ 電源ケーブルを破損するようなことはしない(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります)

⇒修理の際は販売店にご相談ください。

■ 風が強い場所に設置しない
(風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります)■ 高圧洗浄機などで本機の防水性能を超える水をかけない
(浸水による火災や感電の原因となります)

■ 以下のような場所での設置および使用はできません

● ブールなど、薬剤を使用する場所
⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。

● ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所

● 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所

● 放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所

● 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所

● 使用温度範囲を超える場所

● 車両、船舶や工場ラインなどの振動の多い場所(本機は車載用ではありません)

● エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所

● 硫黄を含むゴム製品(パッキンやゴム足など)が近くにある場所

■ 取ねじの締め付けについて
インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損したり締め付けすぎたりします。■ 低温環境での設置について
本機は-20 ℃以下の環境で設置、使用開始すると、正常に使用できないことがあります。しばらく待っても起動できない場合は、ご使用の環境が-20℃以上のときに使用開始してください。カメラ壁取付金具 : WV-QWL501-W
パイプ取付金具 : WV-QAT500-W
吊り下げ金具 : WV-QSR501-W
カメラ壁取付金具 : WV-QWL500-W■ 低湿環境での設置について
本機は-20 ℃以下の環境で設置、使用開始すると、正常に使用できないことがあります。しばらく待っても起動できない場合は、ご使用の環境が-20℃以上のときに使用開始してください。カメラ壁取付金具 : WV-QWL501-W
パイプ取付金具 : WV-QAT500-W
吊り下げ金具 : WV-QSR501-W
カメラ壁取付金具 : WV-QWL500-W

■ 1 その他の取り付け可能な別売品については、サポートウェブサイト<管理番号: CO106>を参照してください。

■ 2 WV-Q105Aを使って天井に設置する場合は、屋内設置のみとなります。

■ 3 H.265ユーザーライセンスを含む。

付属品をご確認ください

取扱説明書 設置編(本書) 1枚 コードラベル*1 1枚

保証書 1枚

※1 ネットワーク管理上、必要になる場合があります。紛失しないようにご注意ください。

以下の付属品は取付工事に使用します。

ベース金具 1個 ピット(六角対辺6.35 mm T20) 1個

アタッチメント金具 1個 型紙A(アタッチメント金具用) 1枚

アタッチメント固定ねじ(M4×8 mm) 5本 (うち1本は予備ねじ) 防水テープ 1個

RJ45防水コネクターカバー 1個 4Pアラームケーブル 1本

RJ45防水コネクターキャップ 1個 2P電源ケーブル 1本

付属品以外に必要なもの

● 固定用ねじ

取付方法 SWボックス 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける

直付け アタッチメント金具を使って天井または壁面に直接取り付ける

ベース金具 ベース金具を使って天井や壁面に取り付ける

オプション金具を使って取り付ける場合

※1 ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじ、くぎは使用しないでください。

※2 ねじ1本あたりに要求される最低引抜強度です。木ねじ、くぎは使用しないでください。

※3 ねじの長さは厚み20 mm以上の堅牢な天井または壁面に設置する場合の例です。

● RJ45プラグ、Ethernetケーブル(カテゴリ5e以上、ストレート、4対(8芯))

● 必要な場合は、音声入力ケーブル、音声出力ケーブル、アラームI/Oケーブル、電源ケーブル

● 工具

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコード入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用しているOSSについては、こちらを参照ください。」をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブリ、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

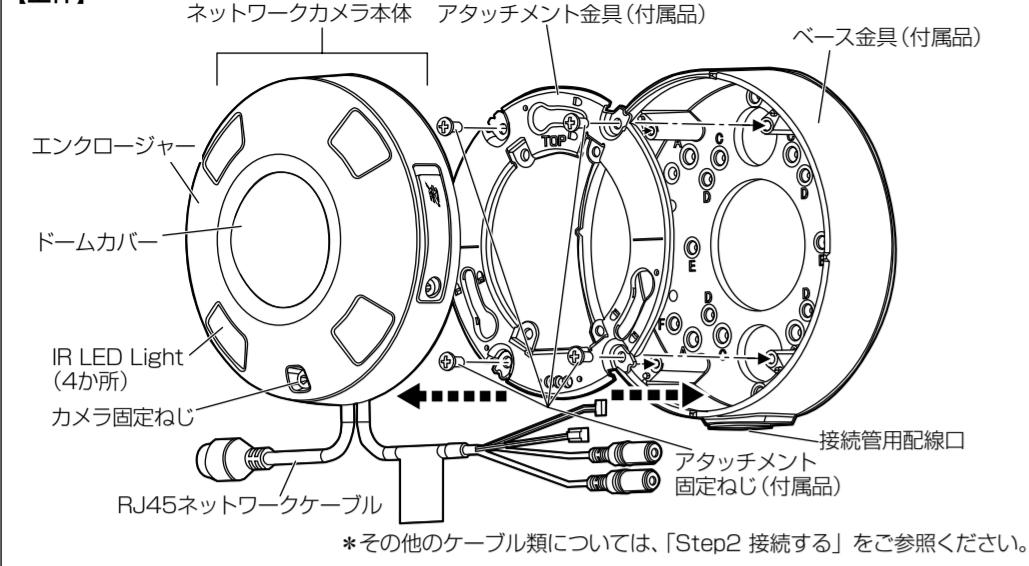
※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

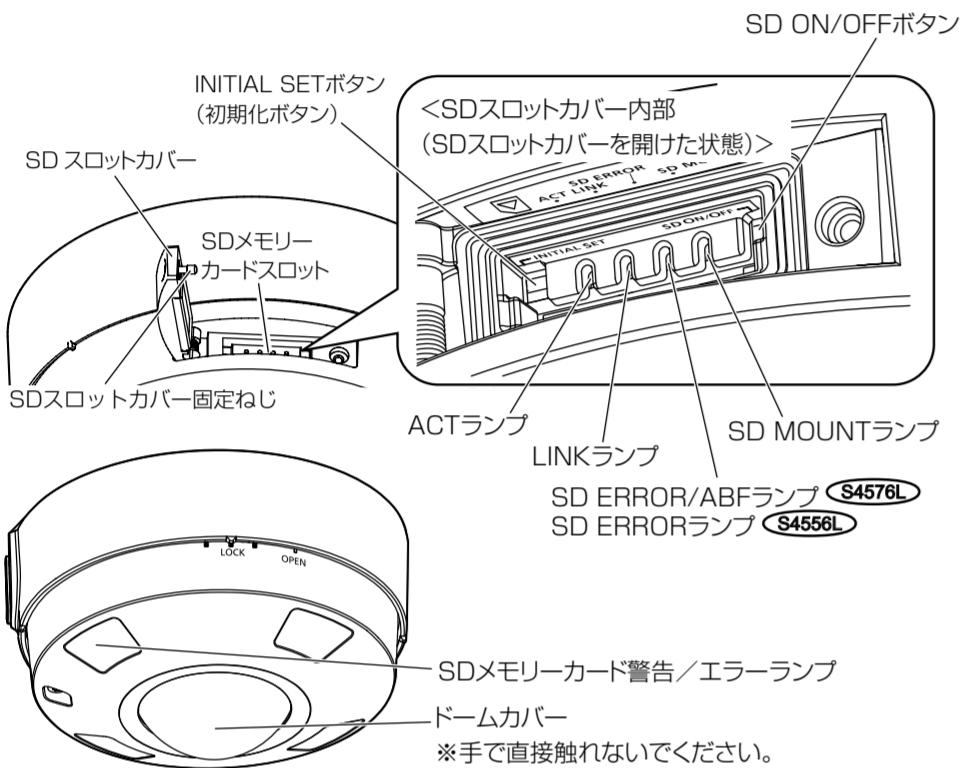
- Microsoft、Windows、Windows Media、Internet Explorer、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および/またはその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- SDXCロゴはSD-3C、LCCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle ChromeはGoogle LLCの商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国におけるMozilla Foundationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

各部の名前

[全体]



[ランプおよびボタン]



Step1 設置面を加工する(取付タイプに合わせて加工する)

共通

- アタッチメント金具(付属品)は「TOP」マークが見えるように取り付けてください。
- アタッチメント金具(付属品)のTOP方向を撮影方向(画面の上方向)に合わせ、固定用穴及び配線用穴(必要な場合)を開けてください。ダブルバーノラマでご使用の場合は、型紙のTOP方向を撮影方向(画面の上方向)に合わせてください。ダブルバーノラマの詳細は、サポートウェブサイト<管理番号: C0126>と、同梱されている「ダブルバーノラマ画像使用時の設置について」チラシを参照してください。設置完了後、カメラ本体をPAN方向に±5°で調整できます。

重要

- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、防水処理をしてください。
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。

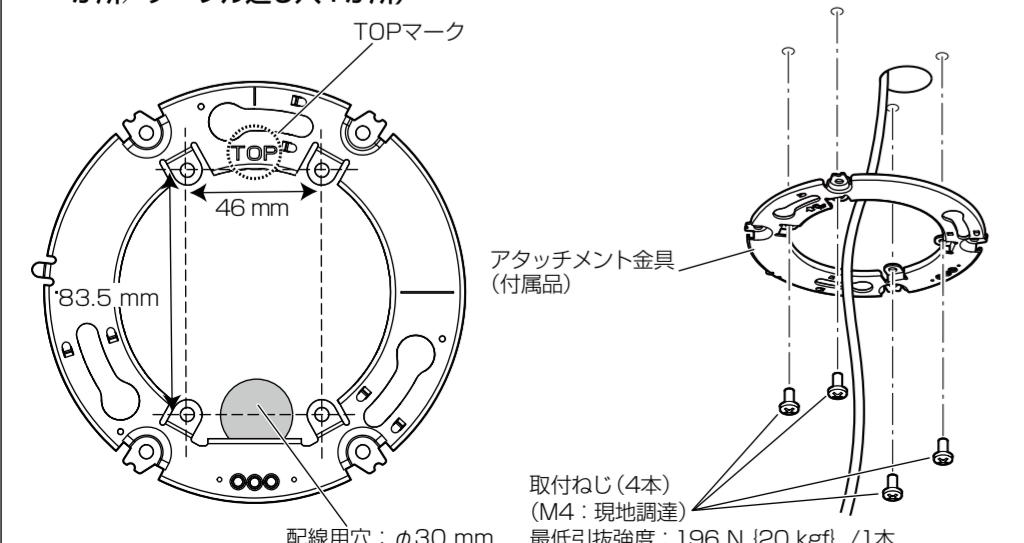
SWボックス

[1] 設置面にSWボックスを取り付ける。

[2] SWボックスにアタッチメント金具を取り付ける。

直付け

[1] 型紙A(付属品)のTOP方向を取り付けたい向き(画面の上方向)に合わせ、固定用穴および配線用穴(必要な場合)を開け、その後アタッチメント金具を固定する。(ねじ穴4か所/ケーブル通し穴1か所)



■ランプ

メモ

- ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯することができます(初期状態は点灯および点滅)。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

LINKランプ

接続機器と通信可能になったとき 橙点灯

ACTランプ

カメラがデータを送受信したとき 緑点滅(アクセス中)

SD MOUNTランプ

SDメモリーカードを挿入して認識できたとき 消灯→緑点滅→消灯

SDメモリーカード挿入後、SD ON/OFFボタンを押し(1秒以下)、保存可能な状態になったとき 消灯→緑点灯

SDメモリーカードに保存できる状態のとき 緑点灯

SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒間)してSDメモリーカードを取り出すとき (録画中) 緑点灯→緑点滅→消灯 (録画待機中) 緑点灯→消灯

SDメモリーカードに異常が発生している場合や未使用に設定している場合など保存できない状態のとき 消灯

SD ERROR/ABFランプ (S4576L) SD ERRORランプ (S4556L)

ABF(オートバックフォーカス)実行中 (S4576L) 赤点滅(1回/秒)

カメラが起動中 赤点灯

正常にSDメモリーカードが認識されたとき 赤点灯→消灯

起動後SDスロット未使用もしくはSDメモリーカード異常が検出されたとき 赤点灯→赤点灯のまま

SDメモリーカード警告/エラーランプ(初期状態は消灯)

警報状態を検出したとき 赤点灯

(警報検出条件: 積働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超)

エラー状態を検出したとき(エラー検出条件: ライトエラー、リードエラーなど) 赤点滅

■ボタン

● INITIAL SETボタン(初期化ボタン)

本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。

電源を切る → ボタンを押しながら電源を入れる* 15秒 → ボタンを必ず離す 約2分 本機が起動し、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。

*初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されなかつたり、故障の原因になつたりすることがあります。

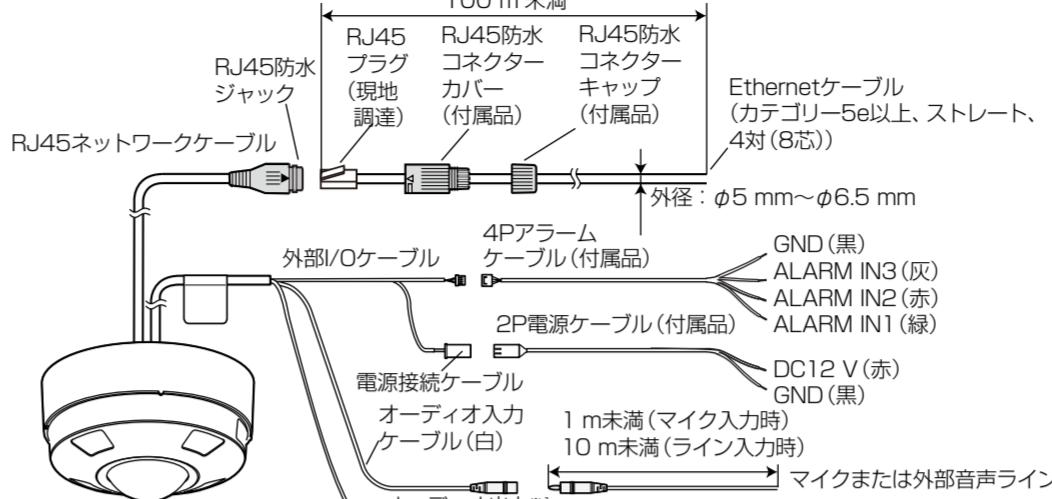
● SD ON/OFFボタン

- ボタンを押す(1秒以下)とSD MOUNTランプが緑点灯し、SDメモリーカードへのデータ保存が可能になります。
- ボタンを長押し(約2秒間)するとSD MOUNTランプが消灯し、SDメモリーカードの取り出しが可能になります。

Step2 接続する

重要

- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブ/PoE給電装置またはDC12 V外部電源です。
- ケーブル類を接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。



*1 オーディオ出力として使用する場合はステレオミニプラグを、モニター出力として使用する場合はモノラルミニプラグを使用してください。

■RJ45防水コネクターの接続方法

重要

- RJ45防水コネクターを外す場合は、必ず組み立てる手順で外してください。
- PoE給電装置とDC12 V電源の両方を接続した場合は、DC12 Vが優先されます。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔を空けてください。素早く抜き差しすると、PoE供電装置から電源が供給されない場合があります。

■外部I/Oケーブル、電源接続ケーブル、オーディオ入力ケーブル、オーディオ出力ケーブルの防水処理

重要

- 防水テープ(付属品)を約2倍の長さに引き伸ばし、ケーブルの周囲にしっかりと巻きつけてください。
- 巻き始め、巻き終わり部分は必ず外皮部分に約20 mm重なるように巻いてください。
- 上記カメラ側4種類のケーブル端子部分は、使用しない場合でも防水処理が必要です。

*コネクターケーブル接続部分は、常に雨や水がかかるような場所に設置しないでください。

■2] ピット(付属品)を使ってカメラ固定ねじを締め、カメラをしっかりと固定する。

重要

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。
- 推奨締付トルク: 0.78 N·m (8 kgf·cm)

■3] 必要な場合はSDメモリーカードの取り付け・取り外しを参照してSDメモリーカードを挿入する。

■4] ドームカバースーパーフィルムを取り外す。

■5] カメラの電源を入れる。

■3] PCの画面上で撮影映像を確認しながらカメラを時計方向もしくは反時計方向にLOCK位置を変更して、映像の向きを微調整する。

重要

- カメラを反時計方向に回しすぎるとカメラがアタッチメント金具から外れますので回し過ぎないようにご注意ください。

■4] ピット(付属品)を使ってカメラ固定ねじを締め、カメラをしっかりと固定する。

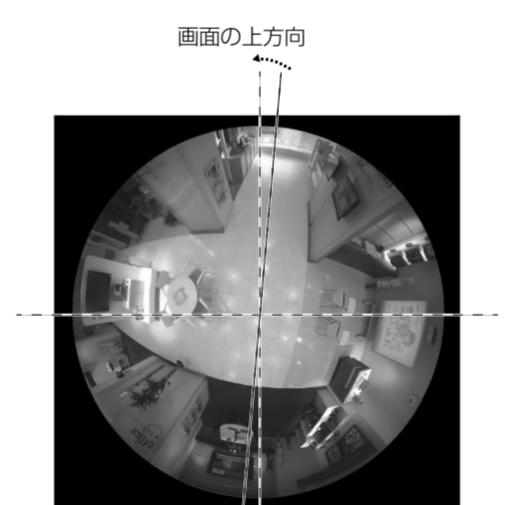
重要

- カメラ固定ねじを締めると、カメラが仮固定状態になります。

■1] サポートウェブサイトの「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号: C0123>または「i-PRO設定ツール(iCT)<管理番号: C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

Step4 調整する

PCの画面上で撮影映像を確認して、画面の上方向(カメラの向き)を微調整したい場合は以下の手順で実施してください。
カメラの固定は、LOCKマークのセンターの「|」を0°とすると、0°(センター)、+5°(右方向)、-5°(左方向)の3箇所で固定することができます。



■1] サポートウェブサイトの「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号: C0123>または「i-PRO設定ツール(iCT)<管理番号: C0133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

■2] ピット(付属品)を使ってカメラ固定ねじを緩める。

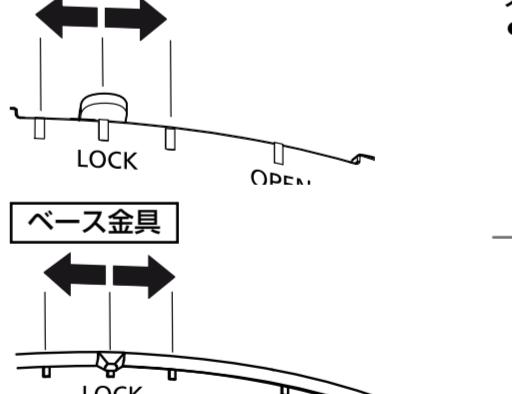


■3] PCの画面上で撮影映像を確認しながらカメラを時計方向もしくは反時計方向にLOCK位置を変更して、映像の向きを微調整する。

重要

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。
- 推奨締付トルク: 0.78 N·m (8 kgf·cm)

■SWボックス 直付け



■4] ピット(付属品)を使ってカメラ固定ねじを締め、カメラをしっかりと固定する。

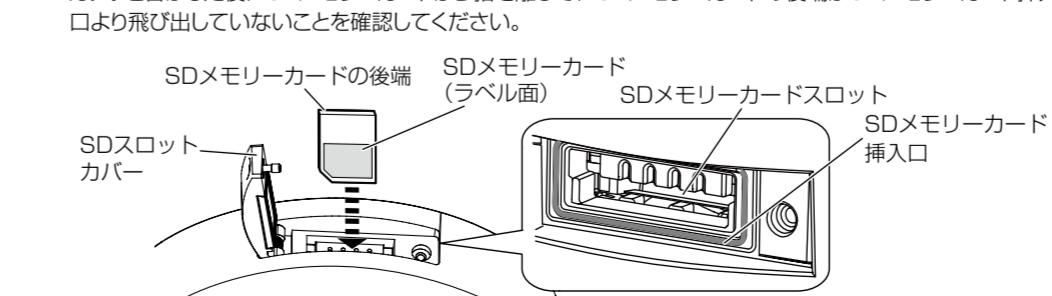
メモ

- 夜間にIR LEDを使用して撮影する時、壁設置では天井、天井設置では壁面が近い場合、撮影映像に反射光が映ることがあります。その時はカメラの固定位置と天井または壁面までの距離を3 m以上確保してください。IR LEDを使用しての全方位撮影については、サポートウェブサイト<管理番号: C0109>を参照してください。

SDメモリーカードの取り付け・取り外し

■SDメモリーカードを取り付ける

- カメラ本体側面にあるSDスロットカバー固定ねじをピット(付属品)を使って緩め、SDスロットカバーを開く。
- SDメモリーカードをSDメモリーカードスロットに奥までまっすぐ差し込み、カチッと音がすることを確認する(SDメモリーカードのラベル面をカメラのレンズ側に向ける)。
- カチッと音がした後にSDメモリーカードから指を離して、SDメモリーカードの後端がSDメモリーカード挿入口より飛び出していないことを確認してください。



■SDメモリーカードを取り外す

- SDスロットカバーを閉め、ピット(付属品)を使ってSDスロットカバー固定ねじを締める。
- SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが点滅から消灯に変わったことを確認してからSDメモリーカードを取り出してください。

メモ

- SDメモリーカードを使用する場合は、本機でSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。設定、フォーマットのしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。
- 最新の動作確認済みSDメモリーカード情報などは、サポートウェブサイト<管理番号: C0107>を参照してください。